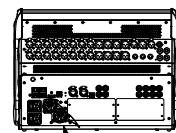
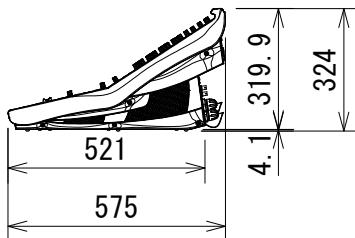
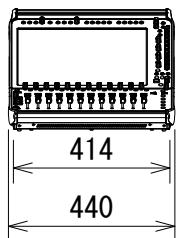
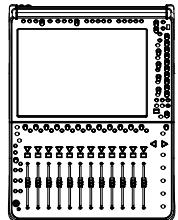
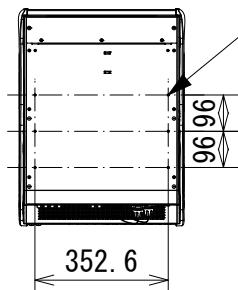


一般仕様（外観図）

形式	デジタルミキシングコンソール（デジタル音響調整卓）
寸法(W×H×D)	440×324×575mm
質量	約14.7kg



オプチカルインターフェイスオプション
※図はHMAコネクタの仕様



底面ネジポイント 6箇所
M4（並目0.7）ネジ用
※Q112底面側のネジの深さは、最長で約12mm。
底面から5mm以上、11mm以内の深さ（長さ）のネジをお薦めします。

（単位：mm）

仕様および外観は予告なく変更されることがありますので、ご了承ください。

NOTE			TITLE			外観図	
⊕□			DiGiCo Quantum 112			※Quantum112-WS-××はサーフェイス単品の 型名、××は光学オプションの種類HMA, NC, ST	
PAPER SIZE	SCALE	DATE	DESIGN	DRAWN	CHECK	DRAWING NO.	
A4	1/20	2026.1	Kojima Shohei				

仕様

操作盤面、及び 入出力性能	フェーダー数	12 (100mmフェーダー)
	入力チャンネル (処理能力)	80ch (モノ/ステレオ/マルチ入力含む合計)
	バス (処理能力)	24 AUX/GROUP+マスター (LR, LCRの何れか)
	ソロバス	1/2/1+2の2系統、及びTrue Solo機能(任意のポイントによる検聴機能)
	マトリックス (処理能力)	最大 12×8
	コントロールグループ	12 選択式(VCAスタイル、ムービングフェーダー、ミュートグループ)
	グラフィックイコライザー	12 (32バンド, ±12dB)
	内蔵エフェクター	ステレオエフェクター×8 + SpiceRack×6スロット
	ノーダルプロセッシング	24 (入力ch側の各AUXポイントのEQ, ダイナミクスの処理機能)
	ローカルI/O (背面コネクタ数)	マイク/ライン入力 : XLR3Fタイプ×16 (32bit ADコンバーター搭載)
		ライン出力 : XLR3Mタイプ×8 (32bit DAコンバーター搭載)
		AES/EBU入出力 : 入力XLR3Fタイプ×1 (2ch)、出力XLR3Mタイプ×1 (2ch)
	MADIインターフェース	75ΩBNCコネクター×8 (48kHz時 4 I/O, 96kHz時 2 I/O)
	DANTEポート	RJ45×2 (Primary, Secondary)、64入出力/96kHzに対応。
	オプチカルインターフェイス (オプション)	コネクタ×2 (1ループ)、コネクタはHMA, OpticalCon, STから選択、シングルモード仕様は受発注時の対応可。
	外部入出力ラック接続数	対応機種のみ接続可、数量は仕様により異なる。参考:オプチカルインターフェイス装着時SD-Rack×14台、未装着時SD-Rack×4台 (48kHz) / ×2台 (96kHz)
	拡張カードスロット (DMI)	DMIスロット×2
	USBオーディオ (UB-MADI)	USB TypeB×1、入出力32ch/48kHz動作 (本体のレートに関わらず)
	USBポート	背面×2 (USB3.0)、前面×1 (USB2.0)
	MIDI1.0インターフェース	In/Out/Thru (5ピンDINコネクタ)
	GPI/GPO	GPI, GPO各2系統 (標準STフォーンジャック:チップ、スリーブのみ結線、モノラルプラグも対応可能)
	外部ディスプレイポート	DisplayPort ※規格名称 ×1
	外部同期	ワードクロック、AES3、MADI、OPTOCORE (オプチカルオプション搭載時) DANTE (LOCAL DANTE)、DMI (カードの構成による)
	タイムコード	MIDIタイムコード、SMPTE
	ヘッドホン出力	操作面及び背面の各面に1組づつ: 標準STフォーンジャック、及びSTミニフォーンジャックの並列組み合わせ出力 (非独立)
入力チャンネル/ AUX/グループ/ マトリックス の各性能と機能	アナログゲイン(入力chのみ)	-20dB~+60dB
	デジタルトリム	-20dB~+60dB (アナログ入力アサイン時: -40dB~+40dB)
	チャンネルディレイ	最大1.3秒
	仮想真空管回路	DigiTube: 全ての入力及びバスで使用可能。 Tube: Musterd Processingに搭載。
	ローパス/ハイパスフィルター	20Hz~20kHz、24dB/oct
	イコライザー (各系統共通、SDとMusterd のタイプ切替)	SD: 4バンドパラメトリックEQ/ダイナミックEQ (バンド別切替) ハイ/ロー・バンドシェルビング/レベル切替え可能。 AUX, Groupバス: 上記4バンドと別ポイントに同性能の4バンドあり、 4バンド×2 (計8バンド) の使用が可能。 Musterd Processing: 最大20ch 4バンドパラメトリックEQ (2バンドはAll Passフィルタに切替可)
	ダイナミクス (各系統共通、SDとMusterd のタイプ切替)	SD: 上段 コンプレッサー、マルチバンドコンプレッサー、ディエッサー 下段 ゲート、ダッカー、コンプレッサー (*格段に何れか1種類) Musterd Processing: 最大20ch使用可能 上段 コンプレッサー3種、リミッター1種 下段 ゲート、ダッカー、エキスパンダー (*格段に何れか1種類)
音響特性	インサートポイント	2: A, Bの各ポイントでプリ/ポスト5パターンからポジション選択) ※Musterd選択 時はInsertAがTube、BがMusterdのインサートポイントの選択表示に切替。
	サンプリングレート	96kHzまたは、48kHz
	レイテンシー	0.5ms (サンプリングレート96kHz時の代表値、背面の入/出力による値。)
	内部プロセッシング	最大40bitフローティングポイント演算
	周波数特性	20Hz~20kHz (±0.2dB)
	THD+N (22Hz~20kHz)	<0.002% (背面アナログ, 0dB入力@1kHz → AES, -10dBFS出力) <0.002% (背面AES入力、-6dBFS, @1kHz入力→背面アナログ, +16dBu出力)
	クロストーク	>100dB@10kHz (背面の入/出力による値。)
	残留ノイズ	<-93dBu (20Hz~20kHz) 代表値
	マイク等価入力ノイズ	<-127.5dBu (A-weighted, 22Hz~20kHz)
	最大出力レベル	+22dBu
電源	最大入力レベル	+22dBu
	電源 (PSU)	内部電源×2 (AC100V、50/60Hz) 1台は冗長用電源。
	消費電力 (2電源の合計値)	ピーク時140W/アイドル時120W ※冗長構成のため各電源に同容量を要供給。
寸法(W×H×D)	440×324×575mm	
質量	約14.7kg	

NOTE			TITLE			仕様	
DigiCo Quantum 112 ※Quantum112-WS-××はサーフェイス単品の 型名、××は光学オプションの種類HMA, NC, ST							
PAPER SIZE	SCALE	DATE	DESIGN	DRAWN	CHECK	DRAWING NO.	
A4		2026.1	Kojima Shohei				

仕様および外観は予告なく変更されることがありますので、ご了承ください。